

# 萌黄 (もえぎ) 通信



新年明けましておめでとうございます。本年も、どうぞよろしくお願い致します。

今年も、建築業界は、まだ、冷めきっていますが、頑張っているいろいろな対策を練って

行きたいと考えております。お互いに良い1年間を過ごしていきましょう！(^o^)! 今いる業界でやっている事を、他の業界でも上手く活かせないかを検討中です。

## 「今冬2度目の積雪」

今冬の冬は本当に寒いですね。山梨県は、比較的、東京と同じような気象状態で、雪はあまり降らないのですが、今冬は早くも二度も積雪しました。初の積雪の時、早朝だったので、笹子トンネルのある大月辺りは、かなり積もっているだろうなんて、気が重く車に乗りましたが、大月に近づくにつれて雨に変わっていき、いつもと違う気象現象を体験したりしました。今冬は更に雪が降る気配なので、4分山のスタッドレスタイヤを早々に履き換えないとイケないですね。

我が家の愛犬は、まるで猫みたいに寒がりです。雪の上では、全く身動きが出来ません。散歩が終わると、こたつの中に真っすぐに入っています。犬にとっても、きつい冬になりそうな感じです。



## 「ハト忌避剤から出た油シミのテスト施工」

ある社屋の2階の出窓部分に、ハトよけの忌避剤を置いたのですが、柵部分が傾斜になっているために、成分の油分が石柵にこぼれて濃い濡れシミになってしまったようです。

恐らく、油分にホコリが付着しやすくなり、汚れも抱き込んでいるのでしょう。

シミ抜き方法は、まず、溶剤で表層の汚れを取り除き、石の下地を出してあげます。よく乾燥させてから、本来の濡れシミに対して、油抜き剤を塗布します。それから、乾燥しない様にラップなどをして放置します。待つこと、40分くらいして、表層の油抜き剤を取り除き、きれいに洗浄をします。再度、良く乾燥後に、シミが出ていれば繰り返し施工を行いシミが目立たないくらいに持って行き、最終的に表層を

軽く荒らして(磨き面だから可能です)完了します。一週間後に確認後、再発が無いのでOKを頂きました。



1. 鳥類忌避剤から出た油シミ



2. 溶剤で下地洗浄



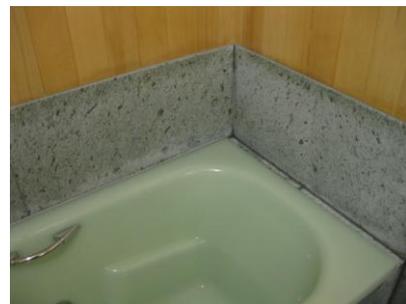
3. 油抜き剤塗布



4. 施工後

## 「十和田石の変色シミ除去」

浴槽の立上り部分に、写真のような変色が出ています。カビにも見えるのですが、塩素系の洗剤では抜けませんでした。そこで、いくつ洗剤や薬品を組み合わせしてシミを抜いていきます。5種類の洗剤で試しましたが、弱酸性の薬品洗浄と漂白系の洗剤の組み合わせが一番除去出来ました。



(編集後記) 中央道の笹子トンネルの崩落事故があつてから、移動時間が普段より、1時間余計にかかり大変です。でも、あの崩落が1週間後の日曜日の同時刻に起きていたら、丁度、通過する時間帯でしたのでほっとしています。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) [info@e-kands.jp](mailto:info@e-kands.jp)